



学校教育目標 基本目標 **社会の変化に主体的に対応できる、人間性豊かな、実践力のある、心身ともに調和のとれた児童を育成する。**

具体目標 **かしこく（進んで学ぶ子） やさしく（思いやりのある子） たくましく（頑張り続ける子）**

めざす学校像

児童が主体となり生き生き学べる魅力のある学校
児童の成長を願い、教職員がチームとして全力で支援する学校
児童にとって安心・安全で、保護者や地域から信頼される学校

めざす児童像

『**かしこさ、やさしさ、たくましさを培い、自ら気づき・考え・行動する活力ある児童**』

かしこさ、やさしさ、たくましさの知・徳・体をバランス良く備え、自らの課題や目標に対して、自ら気づき・考え・行動し、何事にもチャレンジする活力のある児童。
合い言葉・・・「自ら気づき・考え・行動する」

めざす教師像

高い倫理観と規範意識を備え、児童の鑑となる言動をとることができる教師
教科等に関する専門的な知識や技能を高め、主体的・対話的で深い学びを実践できる教師
教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら児童の可能性を伸ばすことができる教師
組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合うことができる教師

学校経営の基本方針

学校は、児童たちが自らの成長と自己実現を目指し、安心して学ぶことのできる場でなければならない。そうしたことができる学校が信頼される・魅力のある学校である。学校教育目標である「社会の変化に主体的に対応できる、人間性豊かな、実践力のある、心身ともに調和のとれた児童を育成する。」ために3つの具体目標の達成に向けて学校経営を行う。

自ら意欲的に学び、正しく判断できる児童

- ・学習の課題やねらいに自ら気づき、考え、主体的にかしこく学ぶ児童の育成
- ・児童が「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」中で、資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る
- ・各教科の目標に迫る「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・体験活動、問題解決的・探究的な学習を重視し、追究する楽しさを味わえる授業実践
- ・児童が自ら課題を設定し、課題解決に向けて挑戦し、自らの学びを振り返る学び方
- ・教師が「～させる」授業から、児童が「～する」授業へ
- ・日常的な ICT 活用

かしこく

思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる児童

- ・周りの様子に自ら気づき考え、思いやりのあるやさしい行動ができる児童の育成
- ・児童理解に基づく成長を促す指導の充実
- ・一体感、達成感、充実感など、感動を味わう学校行事の創造
- ・児童による主体的ないじめ防止活動
- ・全教職員で取り組む、考え議論する道徳教育
- ・教職員自身が高い人権意識を磨き、人権意識に溢れた教育の推進
- ・児童会活動の活性化とあいさつ運動の実施
- ・基本的生活習慣、礼儀やマナーの確立

やさしく

あかるく健康で活力ある児童

- ・自分の取り組むべきことに自ら気づき、考え、たくましくチャレンジする児童の育成
- ・学校・学級が楽しく、安心感、充実感が得られる居場所づくりの工夫
- ・児童一人一人の心身の健康を早期・適確に把握して組織的な対応ができるよう、教育相談サポート体制の充実、SCや関係機関との連携
- ・自然災害等から主体的に身を守るための防災教育の充実
- ・栄養教諭等を中核とした家庭との連携による食育の推進
- ・心と体を育てる学校行事の重視
- ・体育授業の充実や「体力向上プラン」に基づく取組の充実

たくましく

今年度の重点

児童が自ら気づき・考え・行動する活動の設定

- ・自ら気づき・考え・行動するさまざまな教育活動を重視する。
- ・児童主体の学級活動・児童会活動・専門委員会活動を重視する。
- ・体験活動、問題解決的・探究的な学習を重視し、追究する楽しさを味わえる授業実践を行う。
- ・学習の課題やねらいに自ら気づき、考え、主体的にかしこく学ぶ児童を育成する。
- ・周りの様子に自ら気づき、考え、思いやりのあるやさしい行動ができる児童を育成する。
- ・自分の取り組むべきことに自ら気づき、考え、たくましくチャレンジする児童を育成する。

教育相談・生徒指導・特別支援教育の組織的な対応

- ・児童の気になる様子を見逃すことなく全教職員で情報共有し、組織として対応する。
- ・不登校傾向児童への対応は、「登校する」という結果のみを目標とせず、児童が自らの将来の社会的な自立に向け、本人の中にある強みや成長する力を活かす支援を行う。また、本人の心理的な状態(心のエネルギー)や取り巻く環境等、個々の状況に応じた適切な支援を行う。
- ・自己指導能力の獲得を支える生徒指導「4つの視点」(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)を生かした日常的な指導・支援を行う。
- ・いじめの防止・早期発見・いじめの対応については、学校いじめ防止基本方針に基づく適切な対応を行う。いじめが疑われる言動を把握したら、いじめ対策組織で法に基づく適切な対応をする。
- ・保護者との支援方法の共有を図る。困難さを抱える児童の保護者の気持ちに寄り添った支援を行う。
- ・全ての教職員が障がいについて正しく理解し、それに基づく個に応じた配慮等についての認識を深め、組織的に対応する特別支援教育を推進する。

安心・安全で、保護者や地域から信頼される学校

- ・学校経営グランドデザインを活用し、学校と家庭、地域との目標やビジョンの共有を図る。
- ・学校の運営情報を発信する。(学校便り・学年便り・学校 Web・学校ブログ等)
- ・保護者や地域の願いに、迅速丁寧に親身になって応える。
- ・児童が状況を適切に判断し主体的に行動する態度を身につけられる安全・防災教育を推進する。
- ・児童の健康・安全面で配慮の必要な児童を把握し適切な対応をする。
- ・学校でのけがや事故への救急処置や救急体制の適切迅速な対応をする。
- ・登下校時の交通安全・不審者対応等、地域や関係機関と連携した取組を推進する。
- ・事故等発生時及び事後には、全教職員が危機管理マニュアルに基づき、それぞれ役割を分担し、児童の安全確保及び応急手当、心のケア等を実施する。
- ・様々な困難・ストレスの対処方法を身に付けるためのSOSの出し方教育の推進と受け止め体制の整備を実施する。
- ・日常的な感染症対策の徹底と継続を図る。

教育活動を行う教職員の資質向上

- ★教育公務員としての自覚と誇りをもち、コンプライアンス意識をしっかり身につける。
- ★児童の多面的・総合的な理解に努め、児童理解を深化させる。
- ★教職員は、児童の人権感覚を醸成する立場にあり、自らも高い人権意識を磨いていく。
- ★教員養成指標に応じたOJTやメンター研修・自主的研修会を通じた職能成長を図る。
- ★全教職員で日常的に ICT を活用し教育活動、校務の情報化・効率化を図る。



- ★不適切な指導の根絶。不適切な言葉や不適切な行為について認識を深め、絶対否定の考え方に立つ。
- ★教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして、子どもたちに必要な資質・能力を身につけさせる。
- ★自己目標を設定し、自ら学び続ける力、新たな課題に対応できる力、チーム学校として発揮する力など育成する。
- ★働き方の意識改革、限られた時間で能率化を図る。児童にとって真に必要なものは何かを振り返り大胆に業務を削減する。
- ★規律確保行動計画について全職員で取り組む。また、同僚性を高め、不祥事を起こさせない職場環境づくりを推進する。
- ★適正な事務執行・公金等の適正な管理を徹底する。